

学生同士でレポートの読みあわせをさせる

Facilitating Peer-Learning

背景と論点

学生のレポート作成力を高めるためには様々な方法が考えられます。最も多く用いられているのは添削ではないでしょうか。しかし、特に大人数の講義の場合、添削を行うのは非常に困難です。できるだけ負担にならないようなやり方で、学生のレポート作成力を高める方法はないのでしょうか。

学生同士でのレポートの読み合わせには、教師による添削とは異なる意味があります。自分と同じ立場の学生が書いた文章を読むことで、書くこととは異なる学びの可能性が生まれます。また、読み手として感じたことを的確に書き手に伝えるために、考える機会も増えます。読み手の立場に立つことで、書く力を高めることも可能だといえるでしょう。

実践の手法

1. 読み合わせの意図を説明する

- ・ 読み合わせの目的は何か
- ・ 教師による添削と何が違うのか
- ・ 添削と読み合わせの違いは何か
- ・ 他の学生のレポートを読むことで何が学べるか
- ・ 他の学生のレポートにコメントすることで何が学べるか

2. メンバー間に信頼関係をつくる

- ・ 互いに自己紹介をさせる
- ・ ペア活動やグループ活動の機会を増やす
- ・ 他者の考えを聞く機会を設ける
- ・ レポートのテーマについて話し合う機会を設ける
- ・ 書き手の人格と文章とを区別させる
- ・ 他者の文章を読むことから学ぶ態度をつくる
- ・ 他者の学びに寄与する態度をつくる

3. 読みあわせの準備をする

- ・ 書き手の名前をニックネームにさせる
- ・ 必ず何かのコメントを残すよう促す
- ・ コメントする際の責任を自覚させる
- ・ 主張の明確さを意識させる
- ・ 導入・展開・結論の3部構成を意識させる
- ・ 仮説と結論が一致しているかどうかを意識させる
- ・ 引用規則を確認させる
- ・ 参考文献の書き方を確認させる
- ・ 自分なりの「良いレポート」をイメージさせる

4. 読みあわせを実施する

- ・ 文章の長所を伸ばすためのコメントをさせる
- ・ 他者の否定にならないコメントの仕方を考えさせる
- ・ 他者の文章から学ぶために読ませる
- ・ 自分の文章に生かせるアイデアを見つけさせる
- ・ 文章のわかりやすさを意識させる
- ・ 書く過程の一段階だと意識させる

5. クラス全体で読み合わせさせる

- ・ 読みあわせの意図を確認する
- ・ 複数のレポートにコメントをさせる
- ・ 自分のレポートとの違いを意識させる
- ・ 他者のコメントの良さを考えさせる
- ・ 共通して見られる傾向を見出させる

6. もらったコメントについて振り返らせる

- ・ コメントの意図を考えさせる
- ・ 複数のコメント間の違いを明らかにさせる
- ・ コメントの活かし方考えさせる
- ・ 書き直す点とそのままにする点とを区別させる
- ・ cinii などの利用方法について図書館職員から指導を受けさせる
- ・ 書き直す点とそのままにする点とを区別させる
- ・ 自分の「良いレポート」像の修正を促す

7. 書き直しをさせる

- ・ もらったコメントに対応できているか
- ・ 主張は明確になっているか
- ・ 仮説と結論は一致しているか
- ・ 引用規則は守られているか
- ・ 3部構成で書けているか

8. 読みあわせ活動を振り返らせる

- ・ 他者の文章で良いと感じたのはどのような点か
- ・ 注意が必要だと感じたのはどのような点か
- ・ コメントをもらって何を感じたか
- ・ 他者のために読むことの難しさはどのような点だったか
- ・ コメントする際の難しさはどのような点だったか
- ・ 他者の文章を読むことで最も自分が学んだこととは何か
- ・ 事前にどのような指導があったら良いか
- ・ 読みあわせの意義はどのようなことだと考えるか